

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 ユニットさくら・ユニットつつじ 共通					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	思いや意向の把握でのC-1シートの活用は職員からの記入はあったが、同じような内容の繰り返しで書く作業が中心となり活かせず。深く掘り下げるまで至らなかった。	再チャレンジし、心身共に変化する利用者様の思いや意向を見直す機会をもつ。それを基にケアや関わり方の再検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・4か月に1度の期間で実施する ・居室担当がまとめユニット会議で共有する ・サービス担当者会議で具体的に整理し介護計画に反映させる ・必要に応じてご家族からもご意見をもらう 	12ヶ月
2	6	研修や委員会活動は行っているが整理がまだまだ不足。実施はできているが体系化が図れていない。	会議や研修、委員会活動の全般の整理を行い、充実し統一できたものとなるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ※1つつつ整理 ・各委員会と研修で目的と年間活動計画を作成しそれぞれ達成度の確認をとる ・全体会議での項目や時間配分の見直し 	12ヶ月
3	26	1つつつのケアや取り組みはできているが、根拠を伴う部分が不足。介護計画との連動ができていない。	マニュアルに添ったケアの提供と具体的で個別性のある計画作成を行い、プランに添った記録となるよう体系化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・各業務マニュアルを見直しケアの統一を図る ・評価表を活用しサービス担当者会議を充実させる ・介護計画に基づくケアとなるよう意見交換を増やす 	12ヶ月
4	32	医療連携の強化(夜間対応がない)夜間救急搬送時の職員同行ができない状況となっていること。	早い対応で利用者様への負担を減らし、職員が安心して働ける環境を整える。	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間対応可能な医療機関やオンコール対応先の検討 ・夜勤帯の待機職員の検討 ・変更項目の重要事項説明書の改定 	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。